

はしがき

本報告書は、当研究所が令和2～4年度外務省外交・安全保障調査研究事業（発展型総合事業）「国際秩序の転換期における日本の秩序形成戦略—台頭する中国と日米欧の新たな協調」のサブ・プロジェクトの1つとして実施した研究会プロジェクト「米中覇権競争下の日欧連携」研究会の研究成果を取りまとめたものです。

米中の対立と戦略的競争は、軍事・安全保障から先端技術、サプライチェーンの支配、新型コロナ対応をめぐるナラティブに至るまで、あらゆる分野で一層激化し、ルールに基づく国際秩序は一層激しい試練に直面しています。

2020年にはBrexit（英国のEU離脱）が完遂され、また、トランプ大統領以降の米欧関係が試練に直面する中で、2022年2月にロシアによるウクライナ侵略が始まりました。欧州においてはナショナリズムの動きが高まっていましたが、侵略開始以降は「西側」の結束が注目されるようになりました。大国間ヘゲモニー競争とグローバル化の変調に加え、ロシアによるウクライナ侵略がもたらした様々なインパクトについても研究される必要があります。

以上のような問題関心を踏まえ、本研究会では政治・経済・安全保障の面から今日のヨーロッパを重層的にとらえるとともに、ヨーロッパ諸国及びEUの対外政策の方向性を検討することを試みており、また、本報告書には委員諸氏の専門的知見と研究会での議論の積み重ねが反映されております。

なお、ここに表明されている見解はすべて個人のものであり、当研究所の意見を代表するものではありません。今回の研究成果が、包括的な関係の発展を目指す我が国の対ヨーロッパ外交にとって有益な視座を与えるものとなることを期待します。

最後に、本研究に真摯に取り組まれ、報告書の作成にご尽力いただいた遠藤乾主査及び研究会委員各位、ならびにその過程でご協力いただいた関係各位に対し、改めて深甚なる謝意を表します。

令和5年3月

公益財団法人 日本国際問題研究所
理事長 佐々江 賢一郎

研究体制

「米中覇権競争下の日欧連携」研究会

主査：	遠藤 乾	東京大学大学院法学政治学研究科教授／ 日本国際問題研究所客員研究員
委員：	板橋 拓己	東京大学大学院法学政治学研究科教授
	市川 顕	東洋大学国際学部グローバル・イノベーション学科教授
	太田瑞希子	日本大学経済学部准教授
	合六 強	二松學舎大学国際政治経済学部准教授
	佐藤 智恵	明治大学法学部教授
	高安 健将	成蹊大学法学部教授（2020年度～2021年度）
	鶴岡 路人	慶應義塾大学総合政策学部准教授
	東野 篤子	筑波大学大学院人文社会科学研究科教授
	宮井 健志	成蹊大学法学部客員准教授
	宮下雄一郎	法政大学法学部国際政治学科教授

（敬称略、五十音順）

委員兼幹事：	市川とみ子	日本国際問題研究所所長
	尾崎壮太郎	日本国際問題研究所研究調整部長
	高島亜紗子	日本国際問題研究所研究員
担当助手：	大山 美幸	日本国際問題研究所研究助手

尚、本研究会に講師として以下の先生にご参加頂き、執筆もお願い致しました。
ここに改めて感謝申し上げます。

小川 浩之 東京大学大学院総合文化研究科教授

戦禍のヨーロッパ—日欧関係はどうあるべきか—

発行： 2023年3月31日
編者： (公財) 日本国際問題研究所

公益財団法人 日本国際問題研究所
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-8-1 虎の門三井ビル 3階
TEL：03-3503-7261 (代表) FAX：03-3503-7292
URL：<https://www.jia.or.jp>

ISBN978-4-8193-0035-3